

第242回研究科委員会・第349回教員会議 議事要録

日時：令和5年3月3日（金） 16:00～16:30

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議題

冒頭、研究科長から大学院の改革について報告があった。第183回運営会議資料1に基づき、3点について説明があった。1点目は食農科学研究科教員の職位の変更に伴い、教職課程認定の計画変更手続を進めることの説明、2点目は大学院教育プログラム連絡調整会議の内容について、資料1-1の通り、学修案内、「イノベーション・コア」時間割、「プロジェクト研究」シラバス、入学後教務ガイダンス、課題対応型プログラム修了証等に係る確認及び意見交換を行ったとの説明があった。3点目は大学院生の成果発表の定義と集約方法についてであり、資料1-2の通り研究科ごとに異なること、及び理工学研究科の定義と集約方法についての説明があった。

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和5年度大学院入試（第Ⅱ期追加募集）合否判定について

回収資料に基づき説明があった。博士前期課程については、一般入試において志願者1名、受験者1名があり、試験の結果1名を合格としたいとの提案があった。博士後期課程については、社会人特別入試において志願者1名、受験者1名があり、試験の結果1名を合格としたいとの提案があった。審議の結果、提案通り承認された。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和5年度一般選抜（前期日程）合否判定について

回収資料に基づき説明があった。定員70名に対して例年は90名程度を合格者としており、今年も例年通り90名前後としたい。総合点をみると序列93番と94番の得点差が大きいことから、序列93番まで合格としたいとの提案があった。審議の結果、提案通り承認された。その後、学類長から前期入試（物理）で出題ミスがあり、本日午後に記者会見を行ったこと、後期日程が控えているので気を引き締めて臨んで欲しいとの発言があった。

◆教育研究評議会◆

○第394回（2月7日-2月8日書面開催）報告

【審議事項】

(1) 学内諸規則等の制定について

資料1-1に基づき説明があった。前回の評議会でも継続審議となった「部長」を「事務局次長」に修正するとの提案があり、審議の結果、提案通り承認されたとの報告があった。

【報告事項】

(1) 就業規則の一部改正について

資料2-1に基づき、赤字部分が改正になったとの報告があった。准教授から、事務局次長は前回の提案と同じ5名なのか、との質問が出された。学類長からその通りであるとの回答があった。教授から、人件費についての説明はあったのかとの質問が出された。学類長から、人件費について具体的な説明はなかったが、学士課程の改革にとって必要なので、新たなポジションを置くことになったようだと回答が

あった。

◆運営会議◆

○第183回（2月14日開催）報告

【報告事項】

（1）大学院の改革について

冒頭で説明したため省略

（2）第3期中期目標期間の教育研究に関する評価報告書（案）について

最初に資料2に基づき説明があり、「ポイント」に示す黄色マーカー部分（社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標）は評点4であるが、研究に関する目標については評点2なので問題であると認識していることが報告された。続いて資料2-2の4ページ目「研究に関する目標」の下線部について説明があった。准教授から、企業との共同出願というのは特許のことを指しているのかとの質問が出された。それに対し、学類長からはその通りであるとの回答があった。

その他

1. 教務委員会

（1）卒業時 DP 評価について

既に教務課からメールで各教員に連絡しているところであるが、学生が L ポートフォリオの活動成果の入力を行っていないと「教員コメント（評価）」の登録ができないため、未入力の学生、特に4年生には3月7日までの入力を促してほしいとのアナウンスがあった。

以上